

「関西総合物流活性化モデル」認定事業（仮称）の創設について

「関西総合物流活性化モデル」認定事業について

経緯:

国際物流戦略チームでは、関西の物流の発展を目的としたビジネスモデルの認定事業として、関空については2009年度より「関空物流ニュービジネスモデル促進事業」を、阪神港については2013年度より「阪神港利用促進プロジェクト」を推進してきた。

これまでの取り組みの中で、関西の物流の発展に向けては、空港や港湾に限らず、関西の物流全般を対象とするビジネスモデル認定事業を構築する方が、より効果的であるとの考えに至った。

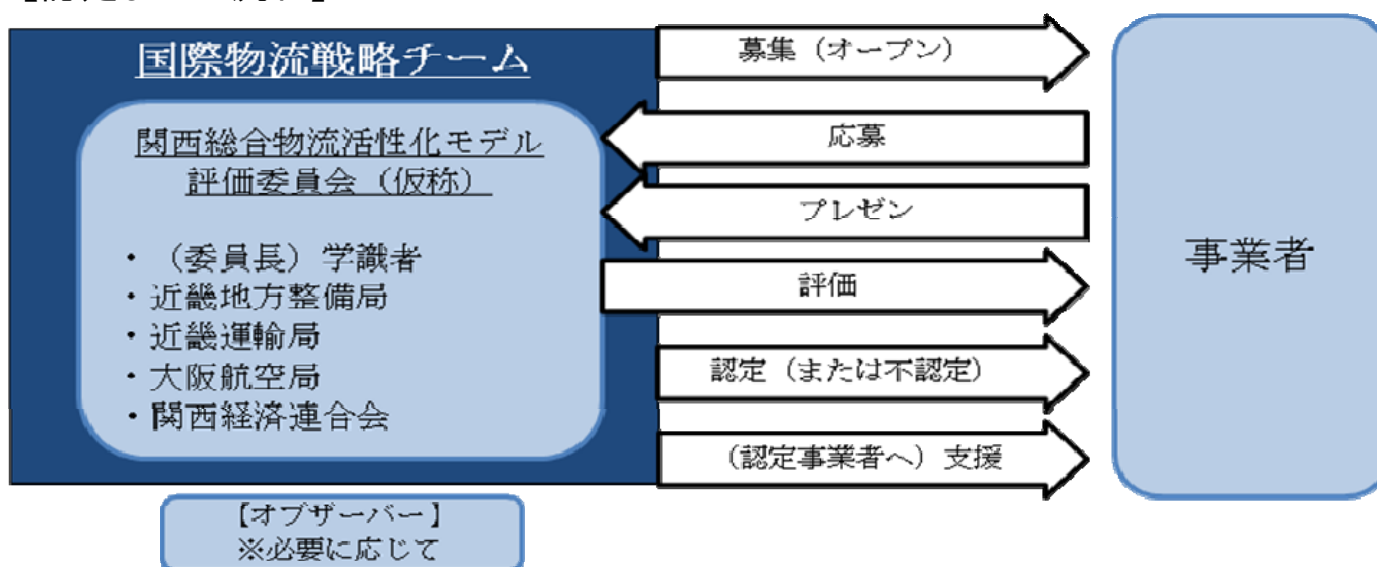
よって、両プロジェクトを統合し、新たな認定事業として「関西総合物流活性化モデル認定事業(仮称)」を構築することとする。

目的:

関西の陸・海・空、全般を対象とし、事業者が行っている物流サービスの中で効果性の高いもの(環境面も含む)を認定し、事業推進の支援を通じて、関西の総合物流の発展を推進する。

新規モデルのみならず、既存の優れた取り組みについても掘り起こし、周知を図る。

【認定までの流れ】



【評価基準】

- ・関西の物流促進効果がみこめるか
- ・先進性、あるいは独自性が高い取組みか
- ・事業遂行能力があり、継続性が見込まれるか
- ・事業の実施体制が適切か

【参考】「関空物流ニュービジネスモデル」「阪神港利用促進プロジェクト」について

「関空物流ニュービジネスモデル」

開始年度：2009年度

認定事業数：35事業

平成26年度の認定事業：

- ・関空における「ハラル物流」構築 〈関空ハラル物流準備委員会〉
- ・医薬品専用輸出梱包サービス「K-Medipac」 〈ワコン(株)〉
- ・関空を利用した「日本酒」の海外輸出促進支援事業 〈損害保険ジャパン日本興亜(株)〉
- ・“Cool Japan”の輸出支援深化 〈郵船ロジスティクス(株)〉
- ・関空医薬品輸送サービス案内 リフレッシュ工事 〈(株)阪急阪神エクスプレス〉
- ・「関空をオールジャパンの架け橋に！」国内空港発！関空へ繋ぐ食・輸送基盤の構築にむけて 〈日本通運(株)〉

「阪神港利用促進プロジェクト」

開始年度：2013年度

認定事業数：10事業

平成26年度の認定事業：

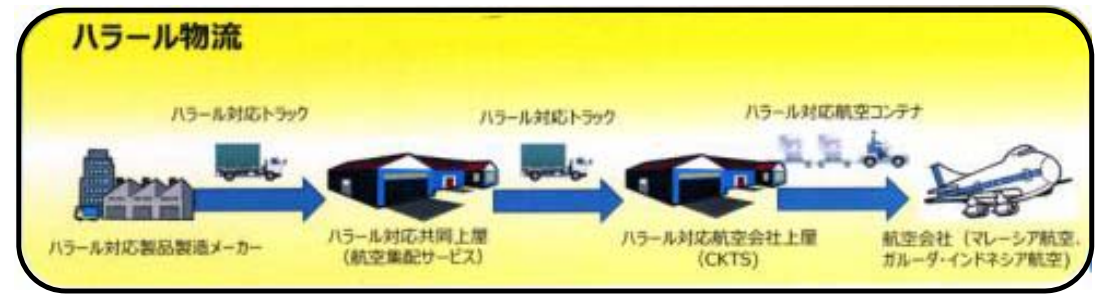
- ・アシストスーツ(荷役支援機器)を利用した港湾荷役作業 〈(株)辰巳商會〉
- ・神戸⇔高松・小豆島間のカーフェリーを利用した外貿コンテナ貫輸送事業 〈ジャンボフェリー(株)〉
- ・神戸⇔宮崎を結ぶ定期フェリー便による貨物輸送事業 〈宮崎カーフェリー(株)〉
- ・阪神港と新門司港を結ぶフェリー事業 〈阪九フェリー(株)〉

【参考】「関空物流ニュービジネスモデル」事業概要(1)

— 関空における「ハラル物流」構築 —

事業者名	関空ハラル物流準備委員会	
	メンバー:	マレーシア航空、 ガルーダ・インドネシア航空、 航空集配サービス、CKTS(株)
	〒549-0021 大阪府泉南市泉州空港南1番地 第1輸出貨物ビル CKTS(株)貨物部	
	TEL072-456-5051	
事業概要	日本国内でまだ構築されていない「ハラル物流」をいち早く構築し、イスラム圏向け輸出貨物を創貨する。	

- 「ハラル物流」構築による新たな物流を創出し、関西空港を貨物のハブ空港とすることへの一助となす
- 巨大かつ様々な産業・業界が対象となるハラル関連市場を関西空港が一手に取り込むことを目指す。
 - 他空港が目を付けていない取組みをする事で「差別化」を図る。
 - 関西を「日本の食文化の最先端を行く地域」と海外に定着させ、関西空港は食品関係のハブ空港を目指す。
 - 関西のゲートウェイである関空の貨物インフラをハード面・ソフト面で整備し、関西空港を使いやすく顧客ニーズに応えうる空港とする。
 - 航空会社、共同上屋会社、航空会社上屋が一体となり、関西空港としての「ハラル商品」を作り上げる。



— 医薬品専用輸出梱包サービス「K-Medipac」 —

事業者名	ワコン株式会社	
	〒649-6425 和歌山県紀ノ川市中井阪361	
	TEL0736-77-2203	
事業概要	KIX内に医薬品専用の定温倉庫を設け、既存のリソースと合わせて高性能な定温輸出梱包サービスを提供することで、スピードと安心を両立させた事業を新規展開する。	

関西空港にワンストップで提供する拠点を開設、「国内初」となる輸送経路、手段によらない一気通貫の低温輸送サービス(完全なCold Chain)を確立

- キャリア搭載直前までの定温保管と確実な運用管理、出国後の定温輸送までを一貫して取り扱うサービス
- スピーディな対応の実現と責任の所在を明確にすることにより、「安心」というプライスレスな価値を提供

「K-Medipac」 GDP対応の低コストな定温輸送システム

2つの定温輸送方法

- ① 設備に依存(保冷庫・リファコンテナ・定温庫) → 電気力
- ② 保冷ボックス+保冷剤 → 化学力

Super Thermo Carton Box
2℃～8℃を120時間キープ

定温梱包【高性能容器】
内装の梱包材と異なる色のカラー

Super Thermo Carton Box
2℃～8℃を120時間キープ

高反発性の発泡保冷剤工材コーティング

気密性を高める専用構造

WACON

【参考】「関空物流ニュービジネスモデル」事業概要(2)

— 関空を利用した「日本酒」の海外輸出促進支援事業 —

事業者名 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒550-0002
大阪府大阪市西区江戸堀1-11-4

Tel.06-6449-1127

事業概要 日本一の清酒生産量を誇る関西のブランドを世界に広めるため、小口を中心とした貨物に対して専用外航貨物保険を提供する。

- 輸出事業に踏み切れていない事業者の発掘と輸出促進
- 関西空港の高品質輸送技術を背景に低廉な保険料での外航貨物保険を提供
 - 海外事故対応ネットワーク(32カ国231都市)による安心のサポート

海外事故対応サービス体制



— “Cool Japan” の輸出支援深化 —

事業者名 郵船ロジスティクス株式会社

〒541-0043
大阪府大阪市中央区高麗橋4-5-2
高麗橋ウエストビル

Tel.06-6233-6209

事業概要 昨年度認定頂いた“行ってCoolジャパン”を深化させ、日本文化(特に食品)の海外輸出を更に促進します。海外でのe-Commerce事業の立ち上げ、海外での生産者・輸出者とバイヤーとのマッチング商談会の開催、輸出機会創出のための新規事業具現化など事業内容を複線化し、総合的に取り組みます。

- 事業の複線化により、更なる日本文化・日本食の輸出拡大を図り、関西空港の活性化に寄与
- E-Commerceサービスをシンガポール地区にて開始
 - 食品の輸出者とバイヤーとのマッチング商談会を弊社主導で実施
 - 輸出機会創出の為の新規事業の具現化(ハラール物流、非居住者在庫による貨物集約など)

eCommerce事業の立ち上げ

- ・シンガポールにて日本文化、日本食品のe-Commerce事業を新たに立ち上げて、日本産品の輸出機会を創出。
- ・まず期成にて参加者を募集し、e-Commerceでの輸送を確立させる。2015年度はサービス体制を固め、輸送を確立。e-Commerceを本格的に立ち上げる。
- ・e-Commerceのビジネスモデルとしてe-Commerce輸出を確立し、輸出。
- ・土産品はe-Commerce輸出となる。e-Commerce輸出を確立させる。
- ・2014年度中にシンガポールスタッフを募集し立ち上げる。e-Commerce輸出。



生産者とバイヤーとのマッチング商談会

- ・関西とその産物の生産者様、メーカー様、輸出業者をアジア地区に誘致し、買手とつながりのあるバイヤー様とのマッチング商談会を実施。
- ・貨物は関空に集約し、全国航空便で輸送する事を条件とする。
- ・買手のみならず、船航トラベル、船航商事、東京海上日動などグループで対応。
- ・物産業者が企画/実施する事で、仲介手数料や組合費用などのコストを削減。



輸出機会創出の為の新規事業の具現化

- ① 海外バイヤーからのオーダーに柔軟に対応する為に、関空倉庫にて非居住者在庫サービスの提供。
- ② ハラル物流構築の為に検討チームを発足。
- ③ 自治体、海外関係等と協力し、e-Commerce輸出機会創出を図る。



【参考】「関空物流ニュービジネスモデル」事業概要(3)

— 関空 医薬品輸送サービス案内 リフレッシュ工事 —

事業者名 株式会社阪急阪神エクスプレス 〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 KHD東京ビル6F TEL03-6745-1462	KIXの医薬品輸送への既存の取り組みを、荷主の関心が高い最新梱包技術や国際的品質管理ガイドライン(GDP・USP等)などの視点を盛り込んで紹介する、新たな販売促進資料(パンフレット・DVD)を作成し荷主のサプライチェーンの何処で活用できるか具体的に医薬品メーカー・当社の提携する輸送・梱包業者に訴求する。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新たな温度管理技術、国際的品質管理ガイドラインを盛り込み、リフレッシュしたかたちでマーケットに訴求し、需要の掘り起こしと新たな需要を開拓 ➢ 関西空港の医薬品輸送における優位性を新たな視点で紹介することで、既存のサービス・施設に手を加えることなく価値を向上 	<p>荷主の関心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品輸送に関する国際的品質ガイドライン(GDP・UPS等)品質マネジメント・人材・文章化等 ・環境・設備に不安のある輸出先への対応 	<p>関空の優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員教育・ダメージレポートの一本化等 ⇒ 輸送業者・国内荷主からの高い関心 ・パッシブ梱包の充実と優れた梱包環境 ⇒ 海外からも高い関心 	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の関心に合わせた訴求で需要の開拓、掘り起こし! ・新たな視点での販売促進資料の作成 ・利用が定着しなかった企業・団体への需要掘起し活動 ・医薬品関連分野(ヘルスケア、医療機器)への新規需要開拓
---	--	---	--	--	---

— 『関空をオールジャパンの架け橋に!』 国内空港発! 関空へ繋ぐ食・輸送基盤の構築にむけて —

事業者名 日本通運株式会社 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-6 日通北浜ビル5F TEL06-6232-2306	海外向けに日本各地の生鮮貨物を、関西空港に航空輸送・集約後、海外へ輸送する新しい生鮮貨物の輸送スキームを構築し、国内・国際貨物事業の基盤を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内の他空港と関西空港を航空輸送で直結させ、生鮮貨物ハブ空港としての地位を確立することにより、生鮮貨物のみならず輸出貨物全般の取込み、また、輸入貨物においても増加が期待 ➢ LCCキャリアのベリースペースの利用、及び国内線ナロー機材の積極活用により、新しい輸送スキームを整備することで新しいビジネスチャンスを生み出す 	
---	--	---	--

【参考】「阪神港利用促進プロジェクト」事業概要(1)

アシストスーツ(荷役支援機器)を利用した港湾荷役作業

事業者名

株式会社辰巳商會

Tel: 06-6576-1841 倉庫部/担当: 梶谷・榎本

事業概要

- ・港湾荷役作業に適した荷役支援機器を開発し、荷役作業において利用するとともに、物流事業での普及を進める。
- ・物流事業を取り巻く状況として、労働人口の減少や高齢化が進んでおり、労働者の安定的確保が経営上の課題となっている。荷役支援機器を使用することによって、労働負荷軽減による作業効率の改善につながり、労働者一人当たりの生産性を向上させる。

事業の特徴

- ・ロボットメーカーのアクティブリンク(株)と荷役支援機器を共同開発
- ・最新のセンサー・制御技術・モーター等を組み合わせた荷役支援機器は、荷役を行う人の動きに対し、的確なアシストを実現し、物流業界での先駆的な取り組みとなる。
- ・荷役支援機器を使用することにより、労働負荷軽減による作業効率の改善につながり、労働者一人当たりの生産性を向上させる。
- ・物流事業に不適とされていた女性や高齢者等の人材の新規就労につながり、物流事業の活性化に寄与する。



神戸⇔高松・小豆島間のカーフェリーを利用した外貿コンテナ貫輸事業

事業者名

ジャンボフェリー株式会社

Tel: 078-327-3111 担当: 西

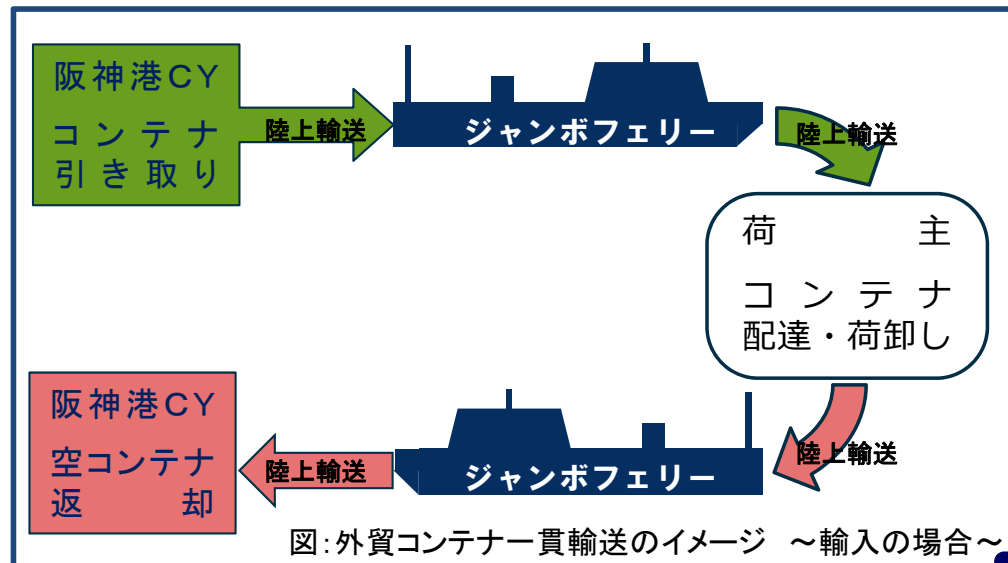
事業概要

- ・阪神港－四国方面への海上コンテナ貫輸に定期カーフェリーを利用することで、高い利便性、経済性のみならず、環境に優しい輸送を実現。

事業の特徴

①国際基幹航路の利用 ②高頻度シャトル便 ③短いリードタイム
北米・欧州航路を結ぶコンテナ船が寄港しない四国にとって、阪神港と高頻度シャトル便で結ばれることは、リードタイムの短縮など、荷主の利便性向上につながる。

④海上大量輸送 ⑤フェリーによる省エネ効果
コンテナ1本当たりの輸送エネルギー消費量は陸送の5分の1であり、燃料コストの削減や温室効果ガス削減に効果があるなど、経済性・環境性の両面で優れている。



【参考】「阪神港利用促進プロジェクト」事業概要(2)

神戸⇄宮崎を結ぶ定期フェリー便による貨物輸送事業

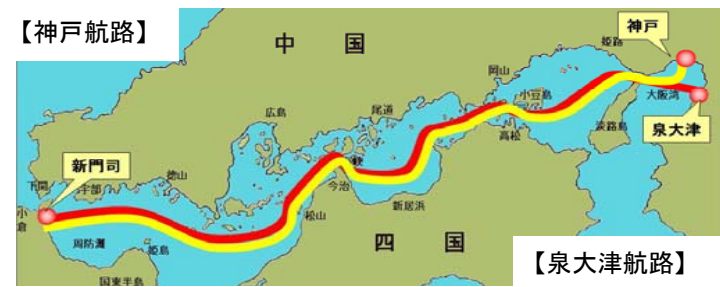
事業者名	宮崎カーフェリー株式会社 Tel: 078-321-3737 関西支店 貨物営業部
事業概要	・定期航路(神戸～宮崎)を利用して、高い利便性・経済性、CO2削減などのモーダルシフトを実現しつつ、コンテナ貨物の一貫輸送を強化することにより、阪神港への『集貨』『通貨』の促進を図る。
事業の特徴	①高い利便性・・・デイリー運航によるリードタイムの短縮や、主要コンテナターミナルと隣接している神戸港へ移転したことによる利便性向上。 ②高い定時性・・・大型カーフェリーの運航による高い定時性。 ③モーダルシフトによるCO2削減・・・海上輸送することにより、CO2の削減を実現。 ④労務問題の解決・・・航海時間中は休息の扱いとなるため、労働時間問題が解決。

阪神港と新門司港を結ぶフェリー事業

事業者名	阪九フェリー株式会社 Tel: 06-6345-6361 関西支店
事業概要	・阪九フェリー(株)が有するフェリー航路を利用することで、高い利便性や環境負荷の少ない輸送を実現する。 ・平成27年1月・4月に瀬戸内海でも最大級となる新造船を投入し、貨物の一層の増加を図る。
事業の特徴	①フェリー航路の有する高い定時制・確実な輸送 ・デイリー航路を活用し瀬戸内海でも最大級となる大型船の投入により、阪神港への物流を一層拡大。 ②船の大型化(従来の車線数8レーンに対し9レーン化) ・大型トラック30台、乗用車100台ほど多く積載が可能。 ③フェリーを活用した商品車両の輸出・輸送事業 ・関西地区の乗り場は自動車専用運搬船バースが近いため、商品車両を輸送し、国内外への輸送をおこなう。



区分	新門司発～神戸着	区分	神戸発～新門司着
月曜～木曜	18:40 ⇒ 07:10	月曜～木曜	18:30 ⇒ 07:00
金曜～日曜	20:00 ⇒ 08:30	金曜～日曜	20:00 ⇒ 08:30



区分	新門司発～泉大津着	区分	泉大津発～新門司着
毎日	17:30 ⇒ 06:00	毎日	17:30 ⇒ 06:00